

気がなにもし京た固音ブB えこ線の手 夜はう防しにてでれぶ灯 くながを
がは。い死怖た方くまで129こるにが布拭千も、に空、悪い電でせり夜ありっ敷
し夜Bかんく。面さり5とがのよ表引にい人寝と開と壊いいま気もてのには灯火管制があり、
す。の29とでてそへんの機、、当にうかいて赤み針、のつ人しを、い上に黒い布を入りにす
方が思し、れ飛連よ位もぶたり縫玉あ筋いしました。家中でもい。しなが漏れたが、入りし
が飛つまいをんなうがの、すブの結つみなました。窓入、な今て漏れたが、入りし
多んでうつ見でつに、ご一上びびてた大き。やれるすかみ過る、布を、
かでのかるいてな、ご一上びびてた大き。やれるすかみ過る、布を、
つくまで自たき、つついブ空が、いきた。にして、アよにたいしのそ
たるしは分びま東ての轟も。見そなさ。

平和の大切さ

～戦争体験を聞く～

私は、木染で育ちまし
た。当時の木染橋は木で
できていたのを覚えてい
ます。子どもの頃は南畑
小学校に通ってました。
砂利道を、はだしで通っ
ていたのが、遠く感じま
した。学校の入口脇には
井戸水が流れていて、こ
ろが流れていて、そこを
洗ってから、校舎に入り



・大正11年生まれ(95歳)
終戦を迎えた場所
富士見市下南畑
洪谷クラさん

すがるして平和世の中が、豊かにな
。大かいら争になり、豊かにな
事から生戦になり、豊かにな
だ、活争になり、豊かにな
といをの思ま経のつだに、い
思ま経のつだに、い
つだに、い
つだに、い

ました。お弁当には、さ
つまいもや焼きびんを持っ
ていきました。昔は、二
毛作で小麦も作っていま
した。学校を卒業すると奉
公に出ました。最初は水子
の方に泊まり込みで子守
り奉公に3年位行きました
。その後、大和町の新倉
(現在の和光市)へも子
守り奉公に行きました。
そのときが、一番つらかつ
たです。木染の家から志
木駅まで歩き、電車に乗
り、新倉駅(現在の和光
市駅)まで行きました。
そこから電車道沿い
に歩きます。とにかく家
から奉公先までが遠くて
つらかったです。今でも覚
えています。
19歳の頃、戦争が始
まりました。当時、教
習所付近で奉公をしてい
ました。奉公先にも東京
の方がたくさんいたよう
でした。

昭和7年生まれ(86歳)
終戦を迎えた場所
島根県美郷町
的場 治さん



朝、起きたら、畑仕事
をして、それから朝ごは
んです。昼間は、さつま
いもを掘り、夜になると
穴倉にしまえます。雨の
日は、機械で縄ないをし
ていました。
お盆やお正月には奉公
先で、上から下まで身な
りを整えてもらい、実家
に帰りました。実家に帰
るのこの時を楽しみに仕
事をしていたのですが、
許されたのですが、ある
時、3泊してしまいが、怒
られると思いつつ、怒ら
れると思いつつ、怒ら
れると思いつつ、怒ら
れると思いつつ、怒ら

子ども頃の遊びは、
もつぱら戦争ごっこで
した。竹やこぎを切っ
て遊びました。もちろん
ん、全員が大將です。
町の八幡様から出陣
して、いく人を見送った
の覚えています。
一度だけ日本海側へ
行って、松屋作りの海
くで、松屋作りの海側
と、松屋作りの海側
と、松屋作りの海側
と、松屋作りの海側

昭和2年生まれ(91歳)
終戦を迎えた場所
富士見市下南畑
長堀君子さん



くださいと連絡がき
ま。毎年同じよう
で、米は、おかげ
で、米は、おかげ
で、米は、おかげ
で、米は、おかげ
で、米は、おかげ
で、米は、おかげ
で、米は、おかげ



「平和の大切さ」ということで戦争体験をされた方にお話を伺いました。紙面の都合上、お話の全てを紹介することはできませんが、多くの貴重な話を聞き、改めて命の尊さ、平和の大切さ、ありがとうございました。
(担当/新井博海、三塚好江、新井紀子、加藤和代、新井優)